

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 13 号)

2024年 2月 6日発行

兵庫のみ研究所

2月5日の降雨(地点：明石, 降水量14.0mm)後の調査でした。海域西部では、依然として小型珪藻のキートセロス, レプトシリンドラス等は確認されますが、発生量は減少しています。満潮時の調査のため、二見漁場東部まで明石海峡部の海水が波及していました。そのため窒素は、魚住漁場以東で概ね2~3  $\mu\text{g at/L}$  台、二見漁場以西では陸水等の影響が見られる地点で概ね2~5  $\mu\text{g at/L}$  台、その他の地点では1  $\mu\text{g at/L}$  以下の値となっています。

(水温) 漁場内平均9.8 $^{\circ}\text{C}$  (平年比0.2 $^{\circ}\text{C}$ 、昨年比0.4 $^{\circ}\text{C}$ ともに高い)。(塩分) 平均32.27psu。前回(32.24)より0.03psu高い。  
 (珪藻、栄養塩ほか) 海域西部では、小型珪藻のキートセロス, レプトシリンドラス, ニッチア等は依然確認されるが、前回(1/30)調査と比較して、発生量は減少していた。明石海峡周辺では、前回調査で見られなかった、小型珪藻のスケルトネマが多く確認された。また、二見漁場以西では、大型珪藻ユーカンピアが海水1mLあたり2~15細胞(前回は5~60細胞)確認された。調査前日の降雨により、二見~高砂漁場では陸水の影響が強くと見られ、全体的に栄養塩の値が高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	10.0	9.8	9.6	9.4
窒素	1.7	3.4	2.9	2.2
リン	0.40	0.45	0.36	0.42

(1/30) (2/7)

西播地先					
伊保地	水温	9.3 $^{\circ}\text{C}$	伊保沖	水温	9.4 $^{\circ}\text{C}$
	窒素	0.2		窒素	0.2
	リン	0.22		リン	0.26
白浜地	水温	9.5 $^{\circ}\text{C}$	白浜沖	水温	9.5 $^{\circ}\text{C}$
	窒素	0.1		窒素	0.2
	リン	0.22		リン	0.25

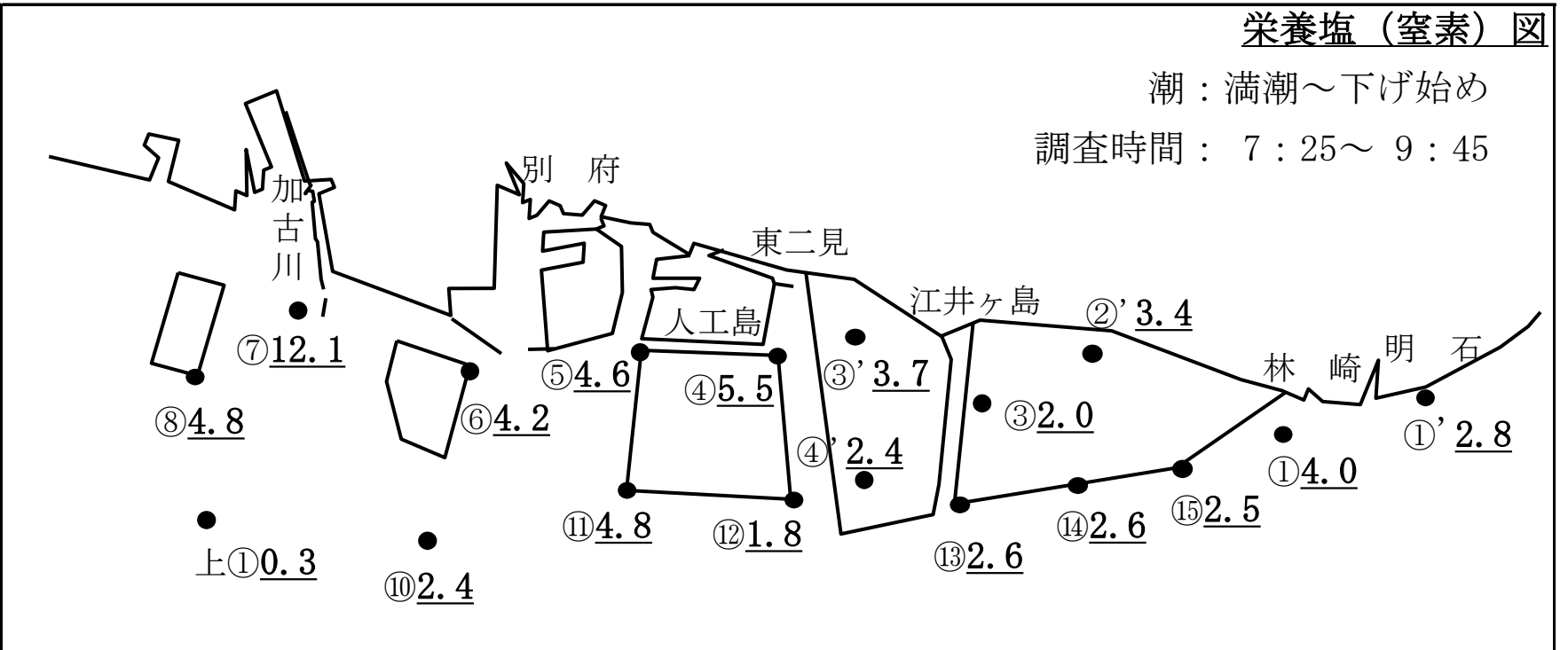
※窒素の平均は別府を除く

2024年 2月 6日調査

## 栄養塩(窒素) 図

潮：満潮~下げ始め

調査時間：7:25~9:45



## 水温図

